

設計課題 小規模なリゾートホテル

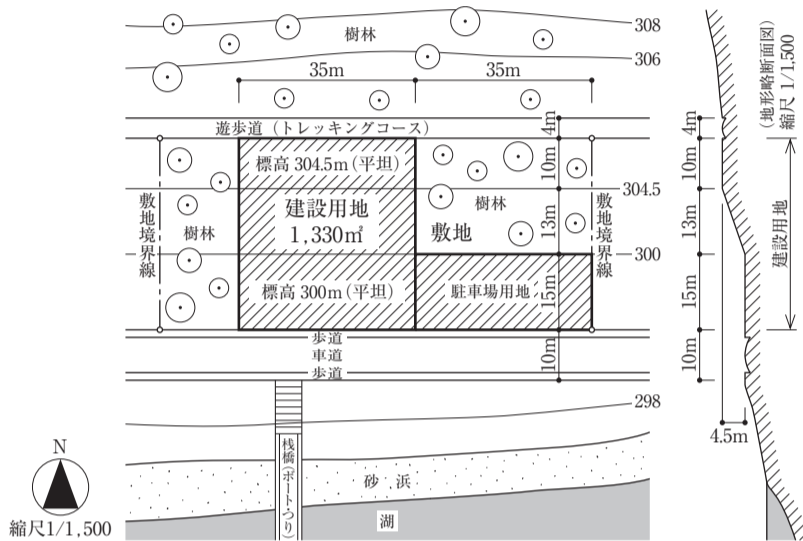
I. 設計条件

この課題は、高原の避暑地に滞在型リゾートホテルを計画するものである。周辺には、つり等が楽しめる湖やトレッキングを楽しめる遊歩道があり、周囲は良好な景観に恵まれている。本施設は、豊かな自然を満喫することで心身をリフレッシュすることができる場とするとともに、地域住民と交流の場となるように各種催しに利用する催事部門及び地域住民も利用できる温浴部門を計画するものとする。

また、計画に当たっては、高齢者や車いす使用者が円滑に利用できる設計手法(ユニバーサルデザイン)及び快適な室内環境が得られるような設計手法(パッシブデザイン)を積極的に取り入れるものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。この敷地のうち本施設の建設可能な建設用地及び駐車場の計画可能な駐車場用地は斜線で示した部分であり、一体的に計画するものとする。
- 敷地は、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所あたり6mまでできるものとする。
- 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあり、建ぺい率及び容積率の制限はないが、景観保全のため主要な屋根は、北側及び南側に下る勾配屋根とする。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。また、敷地の造成は最小限に留めるものとする。
- 地下水及び積雪についての特別の配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造、階数等
構造種別は自由とし、地下1階、地上2階建ての1棟の建築物とする。
この課題においての階の取り扱いは、敷地の標高300mの部分に直近の階を地下1階とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、1,800㎡以上、2,200㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、バルコニー、屋外階段及び塔屋は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室
下表の室は、全て計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
客室部門	・客室については、車いす使用者に配慮したバス、洗面台及び便所を設ける。		
	客室A (ツインルーム)	・6室(約30㎡/1室)設ける。 ・間口の幅は5m以上とし、バルコニーを設ける。 ・ベッド、テーブル、椅子等を設ける。	計約180㎡
	客室B (スイートルーム)	・6室(約40㎡/1室)設ける。 ・間口の幅は5m以上とし、バルコニーを設ける。 ・リビングルーム、ベッドルームを設ける。 ・ベッド、テーブル及び椅子を設ける	計約240㎡
	リネン庫		適宜
パブリック料飲部門	洗濯・乾燥室		適宜
	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・吹抜を設ける。 ・自然景観を取り入れ、明るく開放的な空間とし、コミュニケーションの場となるラウンジを設ける。	適宜
	売店	・レジ、陳列棚を設ける。	約25㎡
	カフェ	・15人程度が利用できるようにする。 ・バーカウンター、テーブル及び椅子を設ける。	約40㎡
	レストラン	・40人程度が利用できるようにする。 ・遊歩道からの動線に配慮する。 ・テーブル、椅子等を設ける。 ・厨房、食品庫及び休憩室を設ける。	適宜
催事部門	交流ラウンジ	・交流の場となるように吹抜に面して設ける。	約30㎡
	イベントルーム(大)	・2室に分割して、利用できるようにする。 ・催事、宴会、研修、会議等に利用する。 ・宴会時の食事は、レストラン厨房で調理する。 ・レストラン厨房との動線に配慮する。	約90㎡
温浴部門	イベントルーム(小)	・催事、宴会、研修、会議等に利用する。	約45㎡
	受付・ロビー	・受付カウンターを設ける。 ・下足箱を設ける。	適宜
	浴室	・男性用、女性用とし、それぞれの脱衣室に洗面コーナーを設ける。 ・自然採光及び自然通風に配慮する。	計約100㎡
	リフレッシュルーム	・エステティック、マッサージを行う。	約40㎡
	休憩室	・和室12畳以上とする。 ・眺望に配慮する。	適宜
管理部門	リネン庫		適宜
	事務室	・フロントカウンター、クロックを設ける。 ・5人程度が利用できる事務スペースを設ける。	適宜
	従業員休憩室	・男性用、女性用として、それぞれ1室設ける。	計約40㎡
	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	適宜
・便所、エレベーター、通用口、倉庫については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. その他の施設等

- 建設用地内に、車回し及び車寄せを設ける。
- 駐車場は、地上に平面駐車とし、建設用地内に送迎用車両(1台当たり3.5m×6m)として1台分、サービス用として1台分設け、駐車場用地内に車いす使用者用として2台分、ホテル利用者用として10台分設ける。なお、職員用の駐車場は、考慮しなくてよい。
- ゴミ置場を設ける。
- (1)～(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
 - 各部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
 - 建築物内の空間構成においては、建設用地内の高低差を有効に活用した計画とする。
 - 敷地の周辺環境に配慮した計画とする。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - 斜面地を考慮した基礎構造、構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設けるとともに、環境負荷低減に配慮する。
 - 自然採光及び自然換気を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽にも配慮する。

II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。
なお、各図面には、必要に応じ、計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 配置図 1/200	<ol style="list-style-type: none"> 建設用地内においては、次のものを図示又は記入する。 <ol style="list-style-type: none"> 建築物の位置(ピロティ、屋外階段等を含む。)及び主要な寸法 主要な地盤及び床のレベル(標高300mの地盤をGL±0とする。) 建築物の屋根伏図(軒先、庇、バルコニー等は一点鎖線で図示する。) 建築物の出入口 車回し、車寄せ、駐車場(台数及び出入口を明示する。) 設備スペース(ドライエリアを含む。) 建設用地及び駐車場用地内においては、次のものを図示又は記入する。 <ol style="list-style-type: none"> 駐車場(台数及び出入口を明示する。) 通路、植栽等
(2) 地下1階平面図 1/200	<ol style="list-style-type: none"> 各平面図には、次のものを図示又は記入する。 <ol style="list-style-type: none"> 建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積等の計算に必要な程度)
(3) 1階平面図 1/200	<ol style="list-style-type: none"> 室名等(客室の表示は、下記④ハ.による。) 要求室の床面積(専用面積を記入する。)
(4) 2階平面図 1/200	<ol style="list-style-type: none"> 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 設備計画に応じた設備スペース 断面図の切断位置 要求室の特記事項に記載されている室、スペース、什器等
(5) 断面図 1/200	<ol style="list-style-type: none"> 1階平面図及び地下1階平面図には、次のものを図示又は記入する。 <ol style="list-style-type: none"> 建築物の出入口 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 <ol style="list-style-type: none"> 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離及び重複区間の距離 客室については、次のものを図示する。 <ol style="list-style-type: none"> 客室A、客室B、それぞれについて、代表的な1室の室内プラン 各客室の出入口 客室Aの室名(A1からA6)、客室Bの室名(B1からB6)
(5) 断面図 1/200	<ol style="list-style-type: none"> 切断位置は、南北方向とし、エントランスホールの吹抜けを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 採用した環境負荷低減手法について、必要に応じ、簡潔な文章や矢印等により明示する。 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 南側道路(標高300m)からの塔屋を除く建築物の高さ(平均G.Lは求めなくてよい)、階高、天井高、地上1階及び地下1階の床高及び主要な室名を記入する。 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

各階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 車回し、車寄せ及び駐車場の計画について考慮したこと
 - 温浴部門の計画において考慮したこと
 - 斜面地の高低差を有効に活用した計画について考慮したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物に採用した「構造種別・架構形式」及び「スパン割り」について考慮したこと並びに、主要な「部材の断面寸法」
 - 斜面地における建築物の構造計画について考慮したこと
- 設備計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - エントランスホール、浴室に採用した空調方式と採用した理由
 - 浴室の給湯設備において、採用した熱源方式と採用した理由及び熱源機器の設置場所について考慮したこと
- 建築物の特徴(勾配屋根、吹抜け等)に対応した環境負荷低減について、考慮したことを具体的に記述する。なお、断面図等において補足してもよい。